

第 126 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 22 年 4 月 23 日 (金) 14:30～16:30

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員 長 田辺 (電中研)

委 員 岩佐 (産総研), 木本 (佐賀大), 小平 (日電検)

佐山 (防衛大), 竹内 (横河電機)

幹 事 作本 (日電検), 大谷 (アンリツ)

資 料

126-1 第 83 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 報告

126-2 「快適社会を支える計測」特集

126-3 計測研究会プログラム (6 月開催分)

議 事

1. 議事録の確認

- ・ p.13. の「二次案」を「三次案」に, p.38. の「編集委員会」を「編修委員会」に訂正後, 承認された。

2. 平成 22 年度計測研究会について

担当委員より, 実施の決まった計測研究会についての報告があった。

- ・ 5 月の「計測一般」は都合により中止する。
- ・ 6 月の「電磁波計測および一般」は 6 月 25 日に高知県文教協会で開催し, 10 件の発表を予定している。
- ・ 7 月の「遠隔計測および一般」は 7 月 16 日に奈良市内で開催を予定する。現在, 募集中であるが, 6 件ほど集まりそうである。

3. A 部門研究調査運営委員会について

作本幹事より, 資料 126-1 に基づき, A 部門研究調査運営委員会 (白井幹事補佐出席) についての報告があった。

- ・ 技術委員会委員交替について, 伊澤委員の退任が承認された。
- ・ 研究会の発足に係る研究会資料の諸問題について, A 部門は特に問題無い

が、技術委員会の再編により無くなってしまいう研究会について対応ができていないとのことである。また、電気学会においてC部門でも計測があるが、位置づけが不明瞭である。場合によっては、合同研究会を開催してもよいのではとの意見があった。

- ・A部門の研究会論文賞（仮称）について、よい案があれば提案してほしい。
- ・次回は5月21日（金）に開催の予定である。

4. 論文特集号について

田辺委員長より資料126-2に基づき、論文特集号について説明があった。

- ・15ヶ月ごとに特集号を組んでほしいとの話があるが、実施にあたり良い案はないか。調査専門委員会では、研究会資料に内容を追加して特集号にする話もある。
- ・他の技術委員会では国際会議の論文を日本語で出すとの話もあったが、二重投稿の問題もある。
- ・当技術委員会では研究会の発表論文からピックアップしている。今回は、1件は投稿済みで、さらに電中研1件、アンリツ2件、佐賀大1件、防衛大1件がそれぞれ予定されている。

5. 今後の活動予定

- ・運営委員会の開催が不定期となったため、技術委員会の開催の決定が遅くなるかもしれないとのことである。
- ・今後予定されている計測研究会について、9月の「計測一般」は東京支部連合研究会として工学院大学で開催される。この中で、初の試みとして学生を対象とした学生研究発表会が行われることになった。これについて、11月の研究会でも行ってはどうかとの意見があった。
- ・10月の「温度計測及び一般」は2月の「光応用計測及び一般」と合同で開催する可能性もある。また、11月の「計測一般」は、11月18日、19日に佐賀大学にて開催するが、昨年と同様に特別講演を組み込みたいとのことであり、協力を要請したい。

6. その他

- ・論文特集号の査読者をどうするか検討したい。

- ・見学会について，見学場所を産総研にしてはどうかとの提案があり，産総研のオープンラボにあわせて実施時期等を計画することとした。

次回開催

日 時 平成 22 年 7 月 23 日

場 所 未定